〈第67号〉

水俣市 社協だより

令和５年２月１日発行

社会福祉法人
水俣市社会福祉協議会
熊本県共同募金会水俣市支会

水俣市牧ノ内3番1号
TEL 0966-63-2047
FAX 0966-63-3570
メールアドレス info@minamata-shakyo.jp
ホームページ http://www.minamata-shakyo.jp/

誰もがもやいの心で「水俣に住んで良かった」と実感できるまちを目指して

防災と福祉を考える

令和４年11月13日（日）に開催された防災フェスタでの車いす体験

社協だより第67号の主な内容

◆火の国ボランティアフェスティバル開催
◆新型コロナウイルス感染症にかかる特例
　貸付の償還（返済）開始のお知らせ
◆水俣芦北圏域権利擁護センターの利用について
◆ボランティアさんの紹介　など

楽しみながら防災に関する意識や知識を高めることを目的に開催された“水俣市防災フェスタ”で、水俣市福祉課・いきいき健康課と合同で福祉体験ブースを設けました。

発災時の悪路を想定した車いすや避難所での段ボールベッド、高齢者や妊産婦の疑似体験など、多くの方にご参加いただきました。

防災における福祉について、皆さまのご意見をお聞かせください。

第13回

火の国 ボランティアフェスティバル

新たな絆をここから in葦水

令和４年12月10日（土）に、第13回火の国ボランティアフェスティバルが開催されました。今年度は芦北町、津奈木町、水俣市が開催地となり、実行委員会を重ねてきました。当初は令和元年に芦北町のスカイドームを会場に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、２年間、延期をしてきました。３年目となる今年、実行委員の皆さまの「できる方法で実施していかなければ」という熱い思いから、火の国ボランティアフェスティバル初のオンライン開催となりました。

慣れないオンライン配信の準備でしたが、芦北高校の皆さんやプロの方にお力添えいただき、何とか当日を迎えることができました。

メインプログラムは「令和２年７月豪雨災害をふり返って～ボランティアのチカラ、ボランティアのキズナ～」がテーマのパネルディスカッションです。当時、災害ボランティアに取り組まれた八代市、人吉市、球磨村、津奈木町・芦北町の社協職員とボランティアさんが登壇されています。あの時の思い、その後のつながりを熱く語っていただく機会となりました。動画は芦北町社会福祉協議会の公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルにて視聴することができますので、当日見逃してしまった方、再度振り返りたい方は下記の方法にてご視聴ください。

視聴方法

URLまたは、QRコードよりアクセスしてください。

芦北町社会福祉協議会の
YouTube公式チャンネル開設しました！

https://bit.ly/3zz55Hp

芦北町社会福祉協議会　検索

チャンネル登録
お願いします！

ボランティアフェスティバル
volunteer festival
2022

赤い羽根共同募金へのご協力、ありがとうございます

法人募金にご協力いただいた皆様

・株式会社アール・ビー・エス
・有限会社松本文具店
・有限会社前田生花店
・株式会社アスカインデックス
・興南電気株式会社
・太陽電気株式会社水俣支店
・医療法人善哉会
・白梅病院
・エス・デー・システム株式会社
・生活協同組合くまもと
・有限会社大川林業
・JNC 株式会社水俣製造所
・株式会社トシヒロ
・アクトビーリサイクリング株式会社
・JNC エンジニアリング株式会社
・太陽電気株式会社
・新興製機株式会社
・尾田胃腸科・内科
・JNC 開発株式会社
・有限会社あすなろ印刷
・MAC コンサルティング株式会社

店頭募金にご協力いただいた皆様

・福田農場
・昇陽館
・海とタやけ
・丸八
・ナポレオン
・水香
・扇スポーツ
・あらせ会館
・カラオケとぉ～ん
・池田屋
・宮崎一心堂
・まどか寿司
・フジヤ
・みむら
・たかやま文具
・和風三笠
・ふれあいセンター
・風季のとう
・宮本酒店
・レストランさくら
・吉冨薬局
・南里
・日昭堂

順不同 / 敬称略 / 令和５年１月10日時点

太陽電気株式会社様

令和４年12月19日、太陽電気株式会社様より赤い羽根の共同募金に募金をいただきました。この募金は、太陽電気様の「豊かな地域社会に貢献する」という企業理念の基、いただいたものです。募金は、青少年の健全育成のために大切に使われます。あたたかい善意、誠にありがとうございました。

水俣市老人クラブ連合会様

令和４年12月27日、水俣市老人クラブ連合会様より赤い羽根の共同募金に募金をいただきました。この募金は同会が「歳末助け合い募金」の一環として、「一円玉募金」の名称で長年続いており、令和２年度より「助け合い募金」と名称が変わり、今年も会員の皆様のご協力により届けられました。

新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付の償還（返済）開始のお知らせ

令和4年3月末までに申込をされた緊急小口資金および総合支援資金【初回】について、令和5年1月から、償還（返済）が始まりました。

償還（返済）が開始となる借受人（借りた方）へ、令和4年11月30日付けで「償還（返済）開始のお知らせ」を熊本県社会福祉協議会からお送りしています。

償還（返済）の方法は、口座振替（自動引き落とし）になりますので、本文末尾の連絡先またはお送りしている「償還（返済）開始のお知らせ」をお読みいただき、口座振替の登録をしてください。

なお、現在も生活にお困りで償還（返済）が難しい場合は、原則1年間の償還猶予（返済猶予）または少額返済（毎月の返済額を少額に変更）ができる場合がありますので熊本県社会福祉協議会へご相談ください。

【お問い合わせ】
熊本県社会福祉協議会
福祉資金部福祉資金課
電話：096-324-5475
（平日：午前9時～午後0時
および午後1時～5時）

新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付の償還免除について

令和4年3月末までに申込をされた緊急小口資金および総合支援資金【初回】は、令和5年1月から償還（返済）が始まっていますが、国の定めた要件に該当する場合は、「償還免除（返済不要）」になります。

償還免除に関する案内文書を、令和4年7月14日付けで熊本県社会福祉協議会から借受人（借りた方）にお送りしています。

償還免除になるためには、借受人（借りた方）が償還免除申請を行い、熊本県社会福祉協議会から免除承認（通知）を得ることが必要となります。お送りしているご案内をよくお読みいただき、免除要件に該当する場合は、償還免除申請を行ってください。なお、償還免除申請の提出期限はありますが、提出期限を過ぎても免除要件に該当する場合は随時受付けますので、熊本県社会福祉協議会へご連絡ください。

なお、住所変更等によりご案内が届いていない場合は、熊本県社会福祉協議会へご連絡ください。

【お問い合わせ】
熊本県社会福祉協議会
福祉資金部福祉資金課
電話：096-324-5475
（平日：午前9時～午後0時
および午後1時～5時）

市民後見人等養成講座を開催しました

将来、市民後見人として活動することを目指す人、家族の立場で身内の人の後見人となることをお考えの方などを対象に市民後見人等養成講座を開催しました。

講座は、芦北町、津奈木町、水俣市に在住の方を対象に、10月から12月の期間のうち5日間（18カリキュラム）開催され、受講者16名中、9名が修了されました。

なお、修了者を対象にフォローアップ講座も開催していますので、これまでに本講座を修了された方は、ぜひご受講ください。

【開催日】 毎月第二火曜日
18時30分～19時50分

【会　場】 つなぎ文化センター

【お問い合わせ】
水俣芦北圏域権利擁護センター
（水俣市社会福祉協議会内）
☎0966-63-2047
メールアドレス
kenriyogo-c@minamata-shakyo.jp

水俣芦北圏域市民後見人等養成講座

水俣芦北圏域権利擁護センターをご利用ください

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方の財産保全や、本人の不利益になるような権利侵害から守るため、成年後見制度などの利用に関する相談に応じています。

～ 秘密は厳守・相談は無料 ～

水俣芦北圏域権利擁護センター（もやい館１階）
☎　0966－63－2047
✉　kenriyogo-c@minamata-shakyo.jp
受付時間：月曜日～金曜日
（8:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:15）
※祝日・年末年始（12月29日～１月３日）を除く

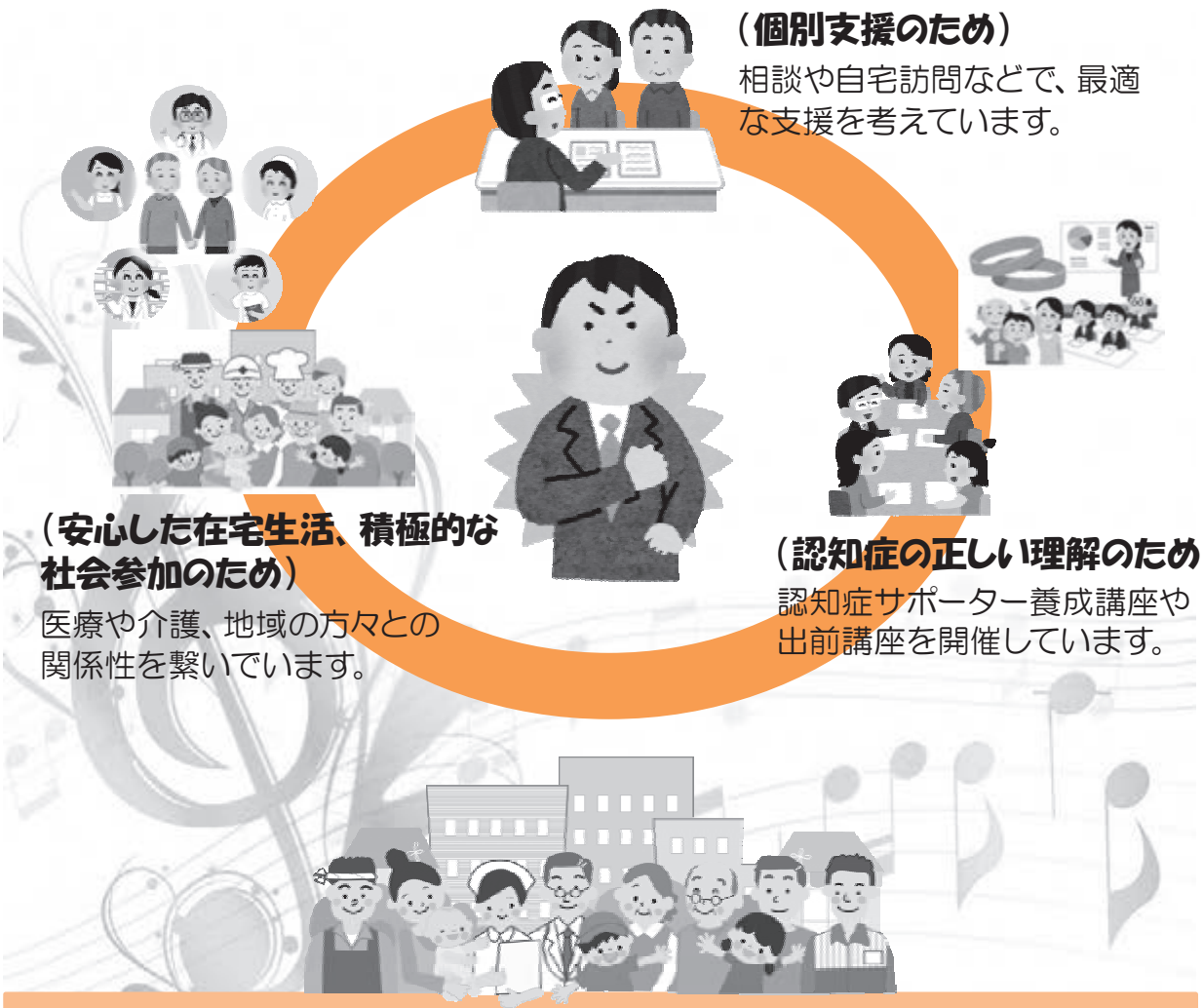
「地域包括支援センターのお仕事紹介」

地域包括支援センターがどのようなところで、またどのような仕事をしているかシリーズで紹介していきます。まず初回は・・・

「認知症地域支援推進員」について紹介します。

「認知症地域支援推進員」とは？

認知症の方ができる限り **住み慣れた地域** で **自分らしく暮らし続けて** いけるよう、認知症の人やその家族等の相談支援や医療・介護等の支援ネットワーク構築に向けて様々な機関と連携、協力をしていく活動を行っています。



認知症になっても、ならなくても
やさしくおもいやりのあるまちづくりを目指して活動しています。

健康まつり＆高齢者福祉センターまつりに参加しました！

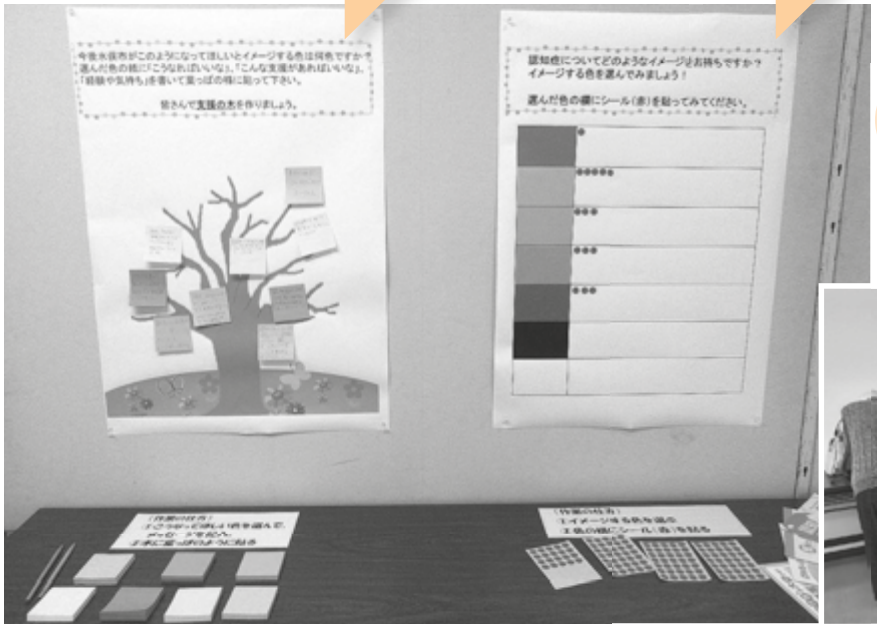
11月27日（日）、もやい館では「健康まつり」、高齢者福祉センターでは「高齢者福祉センターまつり」がそれぞれ開催され、地域包括支援センターから認知症に関する３つの展示をしました。

多くの来場者に地域包括支援センターの展示をご覧いただきました。

高齢者福祉センターまつりの体験コーナーでは、ゲームを通して体を動かしたり、介護予防体操を体験しました。

これから水俣市に「こうなってほしい」と願う色を選び、希望やメッセージを記入し、木の葉をイメージして貼っていただきました。明るく優しい色を選ぶ方が多く、地域の中で支え合いながら認知症を理解していこうという思いのように感じました。

認知症について自分がイメージする色を選んでいただきました。
認知症のイメージとして「暗い」「イメージがしにくい」「危険信号」「良い体験と苦しい体験の両方」などから色を想起する意見がありました。



今、もやい館１階入口に
引き続き展示しています。
ぜひご意見をお寄せください。

ひきこもり相談

ひきこもりは、“からだ”や“こころ”のエネルギーが枯渇している状態です。
ゆっくりしっかり充電していきましょう。

ひとりで悩まずご相談ください

ご本人はもちろんご家族のお悩みもお受けします

家族交流会

同じ悩みを抱えているご家族同士で思いを語り合ったり、情報交換などを行っています。
次回２月15日（水）13:30～15:00

フリージアの会

自助グループとしてひきこもりに関する交流会や情報交換、学習会の実施などを行っています。

【お問い合わせ】
みなまた安心センター
（水俣市社会福祉協議会内）
☎　0966－63－2047
メールアドレス　ansin@minamata-shakyo.jp

水俣市のボランティアさんをご紹介

災害ボランティア
平木 聡志さん

「２０１１年の東日本大震災で何もできなかった後悔と猛省が活動の原点です」平木さんは、２０１２年阿蘇市での活動を皮切りに九州から北海道まで、11都道府県30市町村で２００回を超える災害ボランティアに参加されています。
「被災した家具を〝災害ゴミ〟と呼ばない、災害時のことを詳しく聞かないなど被災者に寄り添うことを心掛けています。活動する中で嬉しかったのは芦北町での活動時、『もうこの家には住めない』と言っていた被災者の方が、ボランティア活動が進むにつれて『この家に住めそうな気がする』と前向きな気持ちに変わっていったこと、背中を押す手助けはできると感じた。ボランティアは一期一会、〝絶対に復旧するんだ〟という同じ意思を持ついろんな人と会って友達ができる宝の山です。」とお話していただきました。

住友生命労働組合 熊本支部様より 車いすをご寄贈頂きました

令和４年11月30日、住友生命労働組合熊本支部様より車いすをご寄贈いただきました。車いすは福祉用具としての貸付け、小中学校での福祉学習等に活用して参ります。誠にありがとうございました。

スタッフコラム　～タスキ～

1月8日に開催された熊日三太郎駅伝競走大会で、私はスタートの運営補助をさせていただきました。スタートの合図を出す大事な役目にドキドキしましたが、無事に役目を果たし、ピストルの合図で、選手達が新春の青空の下を一斉に駆け出していきました。チームの思いを込めた一つのタスキを、次の選手に繋ぐために懸命に走る魅力あふれる競技の駅伝。皆さんは誰にどのようなタスキをつないでいきますか？　（A）